

基調講演 「AI と対話」

中島秀之（札幌市立大学学長、元公立ほこだて未来大学学長）

（趣旨）

「AI と対話」という表題は「AI and 対話」という意味と「AI を相手として対話する」という 2 重の意味で使っている (Dialog and/with AI). 初期の物理記号仮説から、現在の深層学習に至る AI 研究の歴史と現状について話し、人間と AI システムの違いを考える。それぞれの長所を活かすには、AI システムを助手として活用するのが良いと考えている。助手を活用するにはこちらの意図や価値観を的確に伝える必要がある。ところが、AI との対話の際には「フレーム問題」という壁がある。フレーム問題は AI の初期に発見され、いまだに解決されていない問題であるが、状況理論を基にした対話モデルを示し、解決の方向性を示唆したい。